

第2学年 生活科学習指導案

平成28年10月28日（金）2校時

指導者 越間 由香

1. 単元名 大きくなあれ わたしの野さい② ～地いきの人とそだてよう，サツマイモ！～

2. 単元のねらい

○サツマイモが育つ場所，変化や成長の様子に関心をもつとともに，気づきを身近な人々と伝え合うことに意欲をもち，進んで交流しようとする。 【生活科への関心・意欲・態度】

○サツマイモを育てたり，気づきや想いを友だちや地域の人に伝えたりすることについて，自分なりに考えたり振り返ったりする。 【活動や体験についての思考・表現】

○サツマイモを育てる活動を通して，生き物は生命をもって成長していることや，友達や地域の人とかかわる楽しさやよさに気付く。 【身近な環境や自分についての気づき】

3. 基盤

○児童観

…<個人情報保護のため省略>…

○教材観

本単元は，学習指導要領の内容（7）「動物を飼ったり植物を育てたりして，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもち，また，それらは生命をもっていることや成長していることに気づき，生き物への親しみをもち，大切にすることができるようにする」と，学習指導要領の内容（8）「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い，身近な人々とかわることの楽しさが分かり，進んで交流することができるようにする」を受けて設定したものである。育てる野菜に興味をもち，友だちや地域の人と一緒に活動する楽しさに留まらず，疑問に思ったことを聞いたり自分の想いや気づきを伝えたりといった交流を繰り返す中で，心のつながりが豊かになる楽しさやよさを実感することを目的として，サツマイモの栽培に取り組むこととした。

サツマイモは，本地域のような海辺の砂地でも栽培ができ，害虫にも強い。また，一本の苗から多くの収穫があり，地下から掘り上げた時の驚きや喜びが期待できる。低学年の児童でも栽培が容易で，かつ確かな実りも実感できるという点で，児童の興味や関心を持続させること，児童に大切に育てたいという想いをもたせることに，有効な野菜であると言える。さらに，サツマイモは本地域と縁が深く，今から約300年前の飢饉の際，井戸平左衛門と共にサツマイモの作り方を学んで広めた青木秀清という人物が出ている。秋の公民館主催「わたづまつり」では，地域の人が青木秀清を偲んでサツマイモを使った料理をふるまう活動が行われており，

本地域にとってのサツマイモは、より身近な野菜であると言える。

また、今回使用する畑は校地外にあるものの、児童の通学路に面していたり、町の中程にあたりるので、児童や地域の人目に触れやすいという利点がある。したがって、日常生活の中でサツマイモの苗植えから収穫までの成長が確認できるだけでなく、地域の人に栽培活動を見守ってもらえるなど、地域の人とかかわる機会も生まれやすい。今回、サツマイモを通して、校内で収穫を祝う会（いもいもパーティー）を設定したり、課外活動である「わたづまつり」への参加を促したりすることで、児童が育てたサツマイモを介して、地域の人と交流する楽しさやよさに気付かせる学習活動が展開できると考えた。

以上のことから、サツマイモの栽培を通して、植物に親しんだり大切に育てようとしたり、身近な人々と交流する意欲や態度が高められたりするのではないかと考え、本単元を設定した。

○指導観

本校では、研究主題「自ら課題を追求し続ける児童の育成～人とのかかわりを通して～」をもとに、生活科では『『思い』を大切にしたい学習過程の中で、人とのかかわりを工夫すれば、気付きを深めたり広げたりしながら、進んで自分の思いを実現しようとし続ける児童が育つであろう』という研究仮説を立てている。本単元では、国語科の『『ありがとう』をつたえよう』の単元で地域の人に感謝の気持ちを書いたり、学級活動ではパーティーの計画をしたり、「わたづまつり」に参加したりといった他教科・課外活動等とも関連させながら、学習を進めていきたい。そして、児童が進んで自分の思いを実現しようとし続ける場の設定をするために、「具体的な活動や体験の場」と「表現活動の場」の2つに視点をおいた授業を考えていきたい。

①具体的な活動や体験の場

○人とのかかわり方の工夫（「いも兄ちゃん」とのかかわり）

本単元では、単元を通して、地域で農業を営む方を「いも兄ちゃん」として、サツマイモ作りの指導にかかわってもらおう。「いも兄ちゃん」は、いろいろな品種のサツマイモを育てながら、この地域の風土に合う品種を探したり、栽培方法を試行錯誤したりしておられる方である。また社会教育にも携わり、市内の子ども達と農業体験活動も行っておられる。

今回、「いも兄ちゃん」にはサツマイモ作りの指導だけでなく、「いも兄ちゃん」の畝を児童に見させることにより、その工夫や努力に気付かせたり、自分たちの世話の工夫につなげたりしていきたい。そして、サツマイモの成長の過程で困ったり悩んだりすることがあったら、いつでも「いも兄ちゃん」に手紙や電話で聞いてもよいことを伝え、自ら進んで思いを解決しようとする意欲をもたせたい。

また、単元の後半には、いもを植えた時と同じグループ編成で、「いも兄ちゃん」と交換日記を行う。サツマイモは後半になると、比較的、手がかからなくなる野菜であるが、児童は日記に書く内容を考えるため、自らサツマイモ畑に行き、サツマイモをより詳しく観察しようとすると考え。サツマイモを大切に育てたいという思いを持続させるねらいとともに、観察によって気付いたことや疑問に思ったことを書くことで、自分の思いを伝えることの楽しさやよさを感じることができると考える。

○人とのかかわり方の工夫（「イモレンジャー」とのかかわり）

本單元では「いも兄ちゃん」だけでなく、地域ボランティアの5名の方に「イモレンジャー」としてかかわってもらおう。苗植えや草取り、いも掘り、つるを使った調理などの場面で一緒に活動する場や機会を設けたり、「いもいもパーティー」で一緒に調理した物を食べたりして交流を図っていく。こうした交流を繰り返すことで、児童は身近な人々とかかわることの楽しさやよさに気付いていくと思われる。

②表現活動の場

○相手意識・目的意識をもった表現活動（「いもいもパーティー」での発表・「わたづまつり」への参加）

本單元では、「いも兄ちゃん」や「イモレンジャー」と収穫したサツマイモと一緒に食べる場を「いもいもパーティー」として設ける。そこで、児童はこれまでのサツマイモ作りで感じたことをグループごとに発表する。伝える方法は劇、歌、クイズなど、自分達がやりたい方法を選んで行う。伝える内容としては、サツマイモが成長する過程の中で、自分が大切に育ててきたことや、そこには「いも兄ちゃん」「イモレンジャー」との交流があったことなどが考えられる。児童には、これまでの活動を日記や巻物などを手がかりに振り返って考えさせたい。ここでは特に「いも兄ちゃん」「イモレンジャー」と自分たちがどのような交流を続けてきたのかを取り上げ発表させることで、交流したよさや楽しさをより実感し、今後も進んで様々な人と交流しようとする意欲が持てると考える。

また、「イモレンジャー」から、地域の公民館で毎年実施される「わたづまつり」について紹介してもらおう場を設定する。そのことにより、地域行事（「わたづまつり」）に関心を持たせる。自分達が育てたサツマイモを、婦人会がふるまう芋粥の材料として提供してはどうかと提案することで、次の活動への意欲につなげていきたい。実際に地域で行われる祭りの場で「学んだことを人に教えたり、話したりする」活動を行うことは、苦手意識の解消になるとともに、その楽しさやよさ、充実感を十分に感じることができ、気付きを深める場にもなるのではないかと考える。

○気付きが高まる伝え合いの場の工夫（思考ツールの活用）

学習課題について、考えを引き出しやすく、思考が整理しやすくなるよう、話し合いの際には付箋や思考ツールを活用していきたい。付箋や思考ツールをグループでの話し合いに活用することは、自分の考えと友だちの考えの相違が明らかになり、また考えを整理したり組み立てたりすることに有効であると考えられる。そして、考えを整理することで、また新たな気付きを生むことができると考える。

○掲示の工夫（学習の流れ・人材とのかかわりが見える掲示）

本單元では、1学期からの学習の流れを活動の写真とともに掲示し、サツマイモの成長、自分達がサツマイモに親しみ大切にしようとお世話をがんばってきた成果、「いも兄ちゃん」「イ

モレンジャー」と交流してきたこと等を意識し続けられるようにする。また、学習の中で気付いたことを振り返りカードに書き、それを全体に見える形で掲示していく。振り返りカードに書いてあることの中で、他の児童にも気付かせたい内容には教師のコメントを書き、一人一人の気付きを全体で共有したり、気付きを深めたりする。

第2次は「いもいもパーティー」で発表する内容を考えたり準備をしたりする活動を行う。「いもいもパーティー」については、学級活動の時間に計画を立てておく。その際、このパーティーは何のためにするのかを全体で考え、スローガンを決めさせたい。「いも兄ちゃん」や「イモレンジャー」に喜んでもらいたい、感謝の気持ちを伝えたい、一緒に楽しむ時間にしたいなどの想いをスローガンに込め、繰り返し確認することで、単元の終わりまでその想いを実現しようとし続けると思われる。そして、前時に、そのパーティーで「いも兄ちゃん」や「イモレンジャー」が喜んでくれる発表を何にするのかをグループごとに考える。児童はこれまでの「おもてなし会」の経験から今回の発表の方法を考えるものと思われる。グループ編成については、交換日記を通して、いもを植えた班の3人のグループ意識も育っていると思われるので、そのグループで相談して決めさせたい。また、いも兄ちゃんやイモレンジャーにどんなことを伝えたいのかも、個々に付箋に書いておく。その際、掲示物や交換日記、これまでの活動の写真などを手がかりとさせたい。書きにくい児童には「いも兄ちゃんに教えてもらったこと」「イモレンジャーと一緒にしたこと」等の視点を与え、考えさせたい。

本時は最初に、前時に書いた付箋を持ち寄り、グループごとに発表で伝える内容を考える。付箋は事前に児童の思考がしやすいように、教師で分類をしておく。そして、話し合いをしながら自分たちの発表に入れたい内容を「発表に入れたいこと」の枠に移動させる。この活動は、地域の人に喜んでもらえる発表をするには、どんな内容を入れたらいいのかという集団思考の手助けとなると考える。

そして、グループごとに実際に発表内容を作っていく活動を行う。教師は個々のグループに合ったワークシートやカード、文具やタブレット端末等を用意し、必要に応じて提示することで、主体的に学べるように支援する。また、活動の途中で、グループの話し合いがパーティーのスローガンに沿ったものになっているか確認し、必要に応じて声かけをする。

最後に、個々に振り返りカードに書く時間をもつ。今日の活動で、自分ができたことは何か、次時がんばりたいことは何かを書くことで、次の学習への意欲をもたせたい。また、よい気付きのものを全体で紹介することで、自分が気付かなかったことを意識させ、よりよい発表がしたいという想いをもちたい。

4. 単元指導計画と評価計画

(1) 評価規準

小単元の評価規準	生活科への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気付き
第1次 地いきの人とサツマイモをそだてよう。 6時間	サツマイモが育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、地域の人に教えてもらいながらサツマイモを育てることに意欲をもっている。	サツマイモを育てる活動について、気付いたことを身近な人々と伝え合いながら、自分なりに考えたり工夫したり振り返ったりして表現している。	サツマイモは生命をもって成長していることや上手に世話ができるようになったこと、身近な人々と関わる楽しさに気付いている。
第2次 いもいもパーティーで地いきの人につたえよう。 6時間	地域の人にサツマイモを育てる活動を通して気付いたことを伝え、進んで交流しようとしている。	サツマイモの栽培活動を振り返り、地域の人に何を伝えるかを選んだり、分かりやすい伝え方を工夫したり、振り返ったりしている。	身近な人々と関わることの楽しさが分かり、互いに交流することのよさに気付いている。

(2) 単元指導計画と評価計画 (生活科 1 2 時間+国語 2 時間+学級活動 2 時間)

小単元名	主な学習活動	○評価基準 (☆評価方法)
<p>第1次</p> <p>地いきの人とサツマイモをそだてよう。</p> <p>6 時間</p>	<p>①「いも兄ちゃん」に教えてもらいながら土づくりを行う。</p> <p>②「イモレンジャー」といもの苗植えをする。</p> <p>③④サツマイモの様子を見て、お世話の仕方を考えながら行う。</p> <p>⑤⑥夏休みの様子について伝え合い、これからのお世話の仕方を考えながら行う。</p>	<p>○サツマイモが育つ場所, 変化や成長の様子に関心をもち, 地域の人に教えてもらいながらサツマイモを育てることに意欲をもっている。</p> <p>【生活科への関心・意欲・態度】</p> <p>○サツマイモを育てる活動について, 気付いたことを身近な人々と伝え合いながら, 自分なりに考えたり工夫したり振り返ったりして表現している。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>○サツマイモは生命をもって成長していることや上手に世話ができるようになったこと, 身近な人々と関わる楽しさに気付いている。</p> <p>【身近な環境や自分についての気付き】</p> <p>☆行動観察・発言, 振り返りカード</p>
<p>第2次</p> <p>いもいもパーティーで地いきの人につたえよう。</p> <p>6 時間</p>	<p>①サツマイモの収穫をし, 収穫の喜びを友だちや地域の人と分かち合う。</p> <p>◇学級活動: いもいもパーティーの計画をする。 2 時間</p> <p>◇国語科: 『ありがとう』を伝えよう」いも兄ちゃん, イモレンジャーに招待状を書く。 2 時間</p> <p>②③④いもいもパーティーで, いも兄ちゃんやイモレンジャーにサツマイモを育てながら思ったことを伝える方法や伝える内容を考えて, 準備をする。(本時③)</p> <p>⑤いもいもパーティーをする。</p> <p>⑥片付けや振り返りをする。</p> <p>〈課外活動〉</p> <p>「わたづまつり」に参加する。</p>	<p>○地域の人にサツマイモを育てる活動を通して気付いたことを伝え, 進んで交流しようとしている。</p> <p>【生活科への関心・意欲・態度】</p> <p>○サツマイモの栽培活動を振り返り, 地域の人に何を伝えるかを選んだり, 分かりやすい伝え方を工夫したり, 振り返ったりしている。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>○身近な人々と関わることの楽しさが分かり, 互いに交流することのよさに気付いている。</p> <p>【身近な環境や自分についての気付き】</p> <p>☆発言・振り返りカード・表現物</p>

5. 本時の活動（第2次・第3時，9／12）

(1) ねらい

「いもいもパーティー」で地域の人に伝えたい発表の内容を選んだり，工夫したりする。

【活動や体験についての思考・表現】

(2) 本時の展開

学習活動と予想される児童の反応 (○)	教師の支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. 前時の活動を振り返り，本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いもいもパーティーでつたえることを，えらんだりくふうしたりしよう。</p> </div> <p>2. グループで，いも兄ちゃんやイモレンジャーさんに伝えたいこと（発表に入れたいこと）を考える。</p> <p><u>予想される児童の反応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いも掘りの時に，掘るのを手伝ってくれたことが言いたいな」 ○「こうかん日記でわからないことを教えてもらってうれしかったことを伝えたいな」 <p><u>児童が使う思考ツールの例</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 40px; height: 20px; background-color: #4a7ebb; margin-right: 20px;"></div> <div style="width: 40px; height: 20px; background-color: #4a7ebb; margin-right: 20px;"></div> <div style="width: 40px; height: 20px; background-color: #4a7ebb;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(ダンス)で入れたいことをえらぼう</p> </div> </div> <p>3. グループで発表の内容を作る。</p> <p><u>予想される児童の反応</u></p> <p>クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんなクイズにしたらいいかな。 ○いも兄ちゃんに教えてもらったことをクイズにしよう。 ○いもが何キロとれたかしようかな。 	<p>○活動の見通しがもてるように，学級活動からパーティーまでの学習計画を示す。</p> <p>○一人一人が自分の思いをもって話し合いに臨めるように，事前に付箋に自分の考えを書いておく。グループでの思考の整理を容易にするために，教師が事前に付箋を分類しておく。</p> <p>○ありがとうの気持ちだけでなく，一緒にしたよさや自分の成長などを伝えることも大切であることを助言する。</p> <p>○互いの気付きを深めるため，話し合ったことを全体で発表させる。その際，全体に見えるように実物投影機で付箋を映す。一つのグループの気付きを全体に広げていくために，キーワードとなる言葉を板書で示す。</p> <p>○それぞれの発表を考えていくための手助けとなるようなワークシートや支援グッズなどを準備しておき，必要に応じて手渡す。</p> <p>例： クイズ</p> <p>○たくさんの材料の中からクイズ作りをしていく上で手助けとなるようなワークシート</p>

<p>劇・ペープサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いもの成長をペープサートにしよう。 ○教えてもらっている所を入れようか。 ○私は、いもになってみようかな。 <p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いものが成長する様子をおどりにしよう。 ○いもほりをしているところを写真で確かめよう。 <p>4. 今日の活動を振り返り，振り返りカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①今日できたこと・がんばったこと ②次の時間にがんばりたいこと 	<p>劇・ペープサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話の流れを考えることができるようなカード ○登場人物やセリフが記入できるようなワークシート ○必要な声を録音しておくボイスレコーダー <p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動きを録画して見直すためのタブレット端末 ○活動の途中で，必要に応じてグループの話し合いや準備が，パーティーのスローガンに沿ったものになっているか確認し，声かけをする。 ○本時の活動を振り返り，次時したいことを考えられるような振り返りカードにする。 ○教師が見取った児童のよい姿を知らせ，次の活動への意欲を高める。 <p>☆これまでのサツマイモを育ててきた活動を振り返り，地域の人に何を伝えるかを選んだり，分かりやすい伝え方を工夫したり，振り返ったりしている。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>(発言・振り返りカード)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 本時の評価

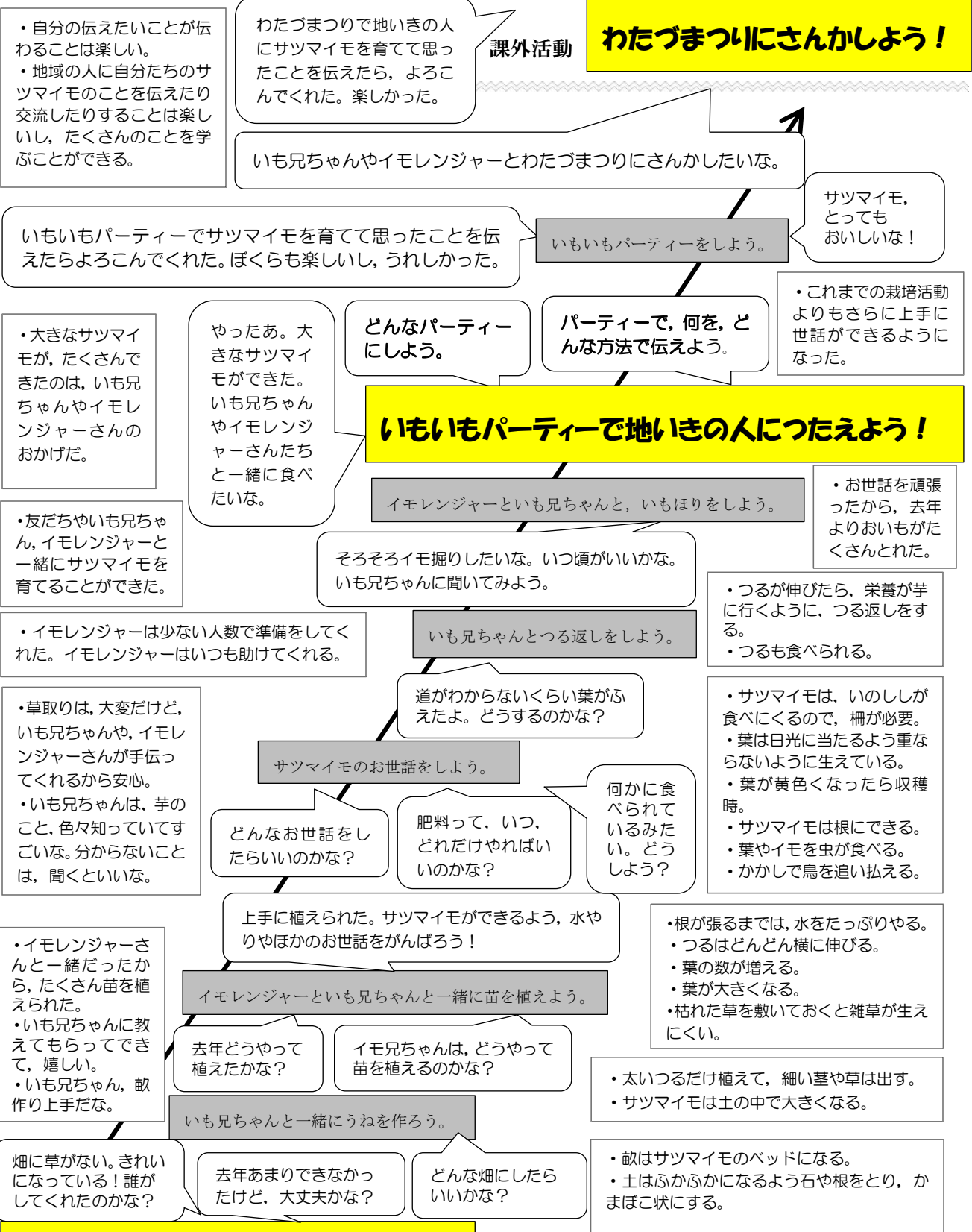
十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への手立て
一緒に活動した地域の人のことを考えて伝えたいことを選び，友だちの意見を聞いたり自分の考えを伝えたりしながら内容や伝え方を工夫している。	地域の人と一緒にした活動や感謝の気持ちの中から，発表の中に入れたいことを選び，内容や伝え方を工夫している。	交換日記や掲示物を見直すことで一緒にした活動や感謝の気持ちに気づけるようにする。思考の手助けとなるようなワークシート等を使って考えさせる。

(4) 研究の視点

- 伝えたいことをグループで考え全体に広げる場を設定したことや，発表内容を作り上げていくための支援（ワークシート・助言・支援グッズ）は，ねらいに迫るために有効であったか。

6. 単元における気づきや想いの例

子どもの想い ・気づき 体験活動 小単元名



学習指導要領(8)の内容

地いきの人とサツマイモを育てよう!

学習指導要領(7)の内容